

作成日:2026年3月12日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

[製品の名称]	製品の名称	エンドセム MTA クイックペースト R ENDOCEM MTA Quick Paste R
[会社情報]	会社名	ペントロンジャパン株式会社
	住所	〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17
	電話番号	03 - 5746 - 0316
	FAX 番号	03 - 5746 - 0320

2. 危険有害性の要約

健康有害性	皮膚感作性	区分 1
	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 1A
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険 警告
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
呼吸器の障害のおそれ
長期にわたる又は反復ばく露による神経系、呼吸器系、免疫系、腎臓、骨関節の障害

注意書き

【安全対策】
・使用前に取扱説明書を入手すること。
・すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
・適切な個人用保護具を使用すること。
・適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
・粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
・取扱い後はよく手を洗うこと。容器を密閉しておくこと。

【応急措置】
・ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診察、手当を受けること。
・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
・皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。皮膚を流水、シャワーと石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。

・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【補足】

皮膚や衣服との接触を避けること。取扱い後は徹底的に洗うこと。

【他の分類されない危険性】

情報なし。

3. 成分の組成情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

成分及び含有量:

成分名	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.
酸化ジルコニウム	1314-23-4	1-563	別表第 9 の 313
ケイ酸カルシウム	12168-85-3	1-194	-
ジメチルスルホキシド	67-68-5	2-1553	1035
その他	-	-	-

・化審法: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報公示整理番号

・安衛法: 労働安全衛生法(安衛法) 名称等を通知すべき有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2)

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚接触

大量の製品を吸入した場合は、直ちに医師の診察を受けること。
 直ちに流水と中性石鹼で数分間注意深く洗うこと。
 濡れた皮膚で触れると皮膚が厚くなりひび割れや亀裂が生じる可能性がある。
 擦り傷の状態でも長時間接触すると、重度の火傷を引き起こす可能性がある。
 刺激、発赤が生じた場合は、医師に相談すること。

眼に入った場合

さらなる損傷を防ぐため、眼をこすらないこと。
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、まぶたを大きく開いたまま 15 分間洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

水で口の中をよく洗浄すること。無理に吐かせないこと。意識がある場合は、水でゆすぎ 1~2 杯の水を飲ませること。直ちに医師の診断を受けること。
 口から何も与えないこと。

皮膚又は髪に付着した場合

直ちに多量の流水/シャワーと石鹼で洗うこと。汚染された衣類を全て脱ぐこと。
 再使用する時は、洗濯をすること。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

本製品は不燃性である。周辺の状況や火災の状況に応じて消火剤を使用すること。

消火を行う者の保護

職場で示されている一般的な火災予防措置に従うこと。
 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	関係者以外の立ち入りを禁止する。適切な保護具を着用すること。 機械を使用して収集すること。
環境に対する注意事項	河川、水路や下水に流れ込ませないように注意すること。 環境中に放出してはならない。
除去方法	飛散した物を掃き集めるか、真空掃除機で吸引する等できるだけ飛散発塵しないようにして、密閉できる空容器等に回収すること。 濡れている場合は、適切な保護具を用いて残留物を収集すること。
追加情報	切削作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置のあるところで行うこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い注意	目との接触、皮膚への長時間接触、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用すること。 換気を行い、休憩前や飲食前に手を洗うこと。
保管注意	乾燥した場所で保管し、直射日光を避けること。密閉して保管すること。 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	局所排気装置、手洗い・洗顔設備、安全シャワー、洗眼器等
保護具	呼吸用保護具 粉塵が発生する場合は、防塵マスクを着用すること。 手の保護具:保護手袋、 眼の保護具:保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

外観	形状	ペースト
	色	白
	臭い	アミン様な臭気
物理的状態の変化に関する情報		
融点/融解範囲		なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
自然発火温度		データなし
爆発範囲		データなし
密度		データなし
蒸気圧		データなし
粘度		データなし
pH 値		12~13
水への溶解性/混和性		3%未満
有機溶媒		データなし
水		データなし
固体の割合		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	水分と反応して硬化する。
安定性	常温条件下では安定。
危険な分解性生物	既知のものなし。
避けるべき条件/材料	極端な温度範囲(25℃超~15℃未満)
互換性のない材料	強酸化物質
有害な分解成物	通常の状況下では発生しない。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。
急性毒性(経皮)	入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。
急性毒性(吸入)	入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。
皮膚腐食/刺激	強アルカリ
眼の損傷/炎症	入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。
生殖細胞突然変異誘発性	入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。
発がん性	入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。
生殖毒性	入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。
誤嚥の危険性	入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。
吸入	通常の室温では関係はない。加熱されると、刺激性の蒸気が発生する可能性がある。
皮膚接触	強アルカリ。本製品には微量の感作物質が含まれており、感受性の高い方はアレルギー反応を起こす可能性がある。
眼に入った場合	強アルカリ性。刺激性があり、発赤や痛みを引き起こす可能性がある。
摂取経路	口や喉に刺激を与える可能性がある。
毒性学的データ	LD50(経口投与、ラット) ジメチルスルホキシド:LD50 > 20000 mg/kg 炭酸リチウム:LD50 525 mg/kg LD50(ウサギ経皮投与) ジメチルスルホキシド:LD50 20000~40000 mg/kg LC50(粉塵、ネズミ) 炭酸リチウム:LC50 > 2.17 mg/l 4時間

12. 環境影響情報

環境影響に関する情報はなし。	
分解性:	この製品は主に生分解性のない無機化合物で構成されている。 本製品に含まれる化合物は、容易に生分解されることが予想される。
生体蓄積性:	生物蓄積に関するデータなし。
土壤中の移動性:	データなし。
内分泌かく乱作用:	データなし。
その他の有害事象:	既知のものなし。

13. 廃棄上の注意

廃棄の方法	診療使用前は、通常の産業廃棄物と同様に取り扱う。 廃棄物および残渣は、地方自治体の規定に従って処分すること。 その他関係法令の定めるところに従う。
-------	---

14. 輸送上の注意

国内規制	
陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国際規則	
海上規制情報	IMDG(国際海上危険物規則)の規定に従う。
航空規制情報	IATA(国際航空輸送協会)の規定に従う。
特別の安全対策	製品が転落し、又は収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。

15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認すること。

労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9） （政令番号 第 190 号、酸化カルシウムとして） （政令番号 第 312 号、石英として） （政令番号 第 189 号、酸化アルミニウムとして）
消防法	非該当
毒劇物取締法	非該当
PRTR 法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当

16. その他の情報

本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがある。

注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上で利用すること。

以上は情報提供であり、個々の用途に対する本品及び本記載内容の適合性を保証するものではない。

改訂履歴

00 2026 年 3 月 12 日 初版

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社
 労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社(2007)
 化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
 化学大辞典 共同出版
 安衛法化学物質 化学工業日報社
 産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
 化学物質安全性データブック オーム社
 公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
 化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
 Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM
 GHS 分類結果データベース nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
 GHS モデル MSDS 情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP
 JCIA BIGDr (一社) 日本化学工業協会「化学物質リスク評価支援ポータルサイト」HP
 職場のあんぜんサイト>安衛法名称公表化学物質等 厚生労働省 HP
 NITE 化学物質総合情報提供システム nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
 GHS 分類結果データベース nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
 GHS 混合物分類判定システム 経済産業省